

# 霧島山(新燃岳)噴火の避難勧告発令時の対応 と関係機関との連携



- ◎面積:85.38Km<sup>2</sup> ◎人口:9,626人(平成25年7月1日)
- ◎世帯数:4,070戸(同) ◎基幹産業:畜産を主軸とした農業
- ◎主要な交通網  
 国道 2路線 県道 5路線 九州縦貫自動車道:高原IC JR吉都線:高原駅



## 噴火前の新燃岳



現在の新燃岳の状況(大淀川砂防出張所より)



火口の溶岩  
(平成23年2月3日職員撮影)



【西麓(にしふもと)地区から】  
平成23年1月26日 15時42分頃

正面に噴煙が見えました。  
火口上1500<sup>m</sup>

【狭野(さの)地区から】  
平成23年1月26日 15時48分頃

高千穂峰が噴煙で隠れました。

**16時20分 災害対策本部設置**

18時 噴火警戒レベルを2→3に  
引き上げられました。(気象庁)



# 災害対策本部(1月26日)

16時20分設置 17時35分 20時の3回開催

## 会議内容

- 1 給水関係・・・水道水源、配水池
- 2 農業関係・・・農作物・畜産(餌確保・移動)、農業施設
- 3 教育関係・・・幼・小・中学校、高校
- 4 福祉関係・・・保育所・福祉施設、避難所対策
- 5 観光関係・・・登山道、温泉、公園等
- 6 環境関係・・・降灰処理、捨て場
- 7 土木関係・・・道路、散水対策
- 8 病院関係・・・飲料水断水対策
- 9 総務関係・・・区長、消防(部長会招集と広報活動・警戒)  
自主避難対策、関係機関との連絡調整
- 10 議会関係・・・議員への周知

## 1月26日 地区住民への広報

### 消防団による広報文

- こちらは、高原町消防団第〇部の広報車です。
- 本日、新燃岳が噴火しました。風向きによっては、噴石も予想されますので、外出を控えるようお願いいたします。



【高原町役場屋上から】火山雷、火柱、地響き、空振が続く  
平成23年1月27日 2時35分頃

高原町総合保健福祉センターほほえみ館を自主避難所として開放(3時20分)  
9世帯14名が自主避難(同日は19世帯31名となる)

## 新燃岳噴火に伴う避難について

平成23年1月26日午後6時に新燃岳の噴火警戒レベルが3に引き上げられました。

- 1 レベル3とは・・・入山規制が行われます。
  - レベル3でも身に危険を感じた場合は自主避難をお願いします
  - 避難場所は、「ほほえみ館」です。
- 2 レベル4になったら・・・避難準備となります。
  - 体の不自由な方などについては避難を勧めます。
  - 役場の広報車でお知らせします。
  - 避難場所は、「ほほえみ館」です。
- 3 レベル5になったら・・・避難情報を伝達します。
  - 被災が予想される地域の住民は避難してください。
  - 役場の広報車でお知らせします。
  - 避難場所は、「ほほえみ館」です。 (山麓8行政区全戸配布)



**【高原町役場付近から】**

平成23年1月27日 15時47分頃  
火口上2500m

**【国道221号交差点付近】**

平成23年1月28日 午前8時3分頃

あたりは薄暗く車のライトだけが頼り  
(朝の出勤時間帯)



**井村准教授**(鹿児島大学)による火山講話(写真は別景)



- 1 江戸時代以来の噴火で想定内 昭和34年の噴火とは桁が違う。
- 2 いつ噴火が起きてもおかしくない状態にある。
- 3 怖い人への対応をしっかりと(自主避難希望者対策)。
- 4 「怖い・危ないと思ったら避難させる」ことである。

# 溶岩ドーム直径500mに 宮崎日日新聞より

**新燃岳 火砕流危険高まる**

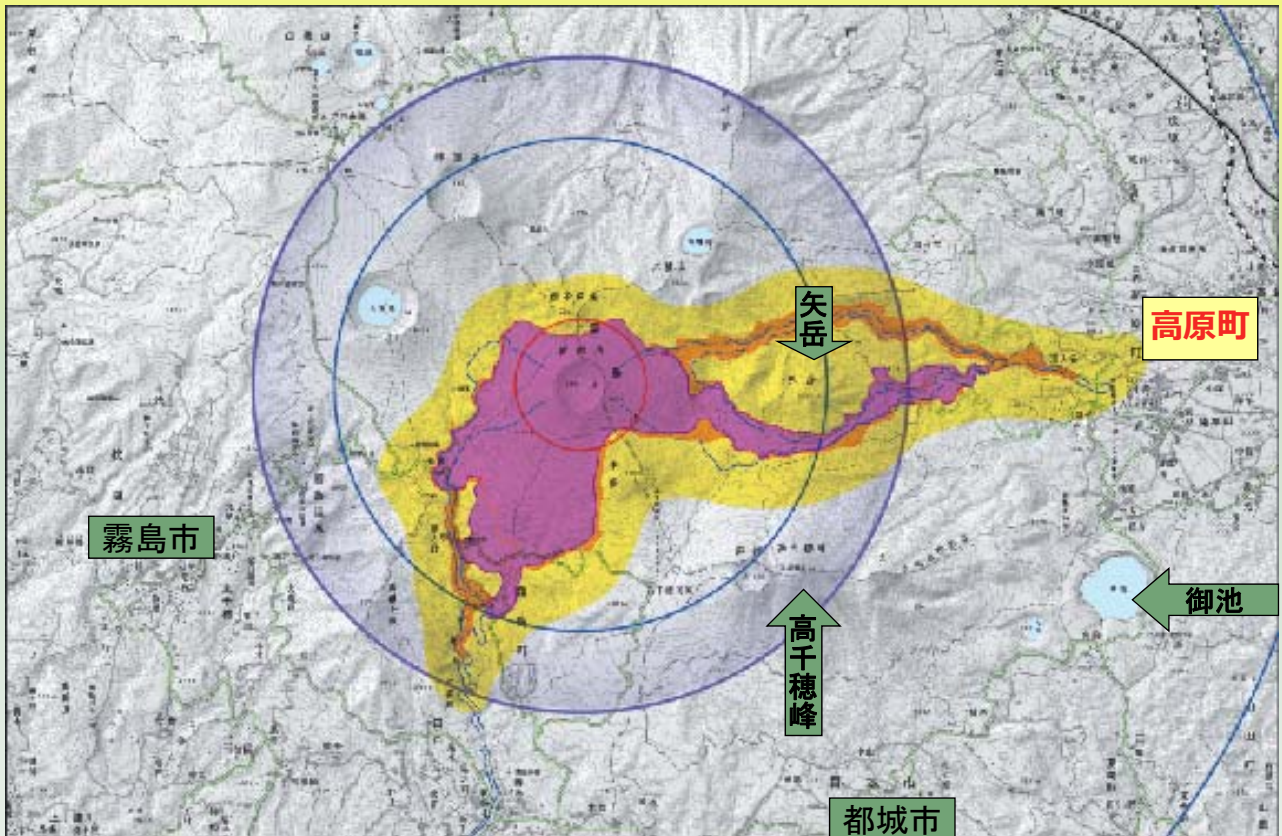
**高原町513世帯避難勧告**

**溶岩ドーム 中央付近再度活動活発化**

**火口縁と同じ高さ**

新燃岳の噴火が激しく、溶岩ドームの直径が500メートルに達した。火砕流の危険も高まっている。高原町では、513世帯が避難勧告を受け、避難している。また、溶岩ドームの中央付近で再度活動が活発化し、火口縁と同じ高さまで溶岩が押し上げられている。火口周辺では、溶岩が流れ出し、火口が狭くなっている。また、火口周辺で、溶岩が流れ出し、火口が狭くなっている。また、火口周辺で、溶岩が流れ出し、火口が狭くなっている。

# ハザードマップ新燃岳が火口となった場合



# 消防団広報資料

## 広報資料(避難勧告)

こちらは、高原町消防団第〇部の広報車です。

〇〇地区は避難勧告中です。

「ほほえみ館」に避難してください。

現在、新燃岳の溶岩ドームが大きくなっており、  
爆発の可能性があります。

「ほほえみ館」に避難してください。

(1月30日 午後11時50分 避難勧告発令)



# 各種判断 (新聞記事より)

1月26日 5頁

**勧告解除 町長の苦悩**

「最大の危機脱した」  
「安全宣言ではない」

町長の対応評価

1月26日 5頁

**地元「避難やむなし」**

「ドドー音響く」、避難勧告の発令から1年

**国判断待たず勧告**

「ドドー音響く」、避難勧告の発令から1年

# おびえる住民 眠れない夜 宮崎日日新聞より



避難所(総合保健福祉センターほほえみ館)  
平成23年1月31日 4時01分頃  
避難者は、神武ホールで一夜を過ごす。(612人)  
(1月30日 23時50分避難勧告発令)





平成23年1月31日  
避難勧告地区内の  
牛を小林市へ避難  
11戸305頭

## 避難先

西諸畜連(繁殖牛)  
小林市営牧場(繁殖牛)  
経済連農場(肥育牛)



## 避難勧告発令までの経緯

**1月26日** 15時40分 新燃岳噴火  
16時20分 災害対策本部設置①  
17時35分 災対会議②  
18時00分 噴火警戒レベル2 → 3に  
19時05分 緊急消防部長会  
20時00分 消防団による広報 以降毎夜  
20時00分 災対会議③  
(避難所開設準備・県道・町道の交通止め等)  
22時10分～23時40分 巡回  
(皇子・山神原 ドドーと音響く 赤い炎確認)

**1月27日** 2時～3時30分 音・赤い炎・空振続く  
3時15分 南狭野活性化センターへ  
3時20分 避難所開設(ほほえみ館)  
**9世帯14名自主避難**  
8時30分 災対会議④  
9時00分 被害調査  
11時30分 災対会議⑤  
13時30分 山麓8区長へ説明  
(噴火状況、避難関係説明)  
15時41分 新燃岳爆発的噴火  
17時00分 災対会議⑥  
**自主避難者19世帯31名**  
20時00分 災対会議⑦ 消防部長会  
**井村准教授による噴火状況・対応等講話**

**1月28日** 8時35分 災対会議⑧  
10時30分 報道関係室設置(1階会議室)  
12時47分 新燃岳爆発的噴火

**1月29日** 10時45分 大島国土交通大臣来町

**1月30日** 9時05分 降灰処理対策協議  
12時20分 藤井火山噴火予知連会長来町  
13時57分 新燃岳爆発的噴火  
14時15分 県危機管理課来町  
21時55分 県危機管理課より電話  
**「溶岩ドームが500mに成長。爆発すれば火砕流発生の恐れあり。レベル4検討中」**  
22時50分 災対会議⑨  
状況説明、避難勧告について協議  
22時50分 南・北狭野区長・班長へ説明  
23時20分 山麓8区長へ説明  
**23時50分 避難勧告発令**  
23時55分 地区役員へ避難方法等を説明

**1月31日** 0時20分 家畜移動協議  
1時00分 高小・狭小・高中臨時休校決定  
1時30分 避難地区の避難状況確認  
ほほえみ館に612人避難  
警察・消防地区巡回開始  
1時35分 気象台発表  
**「火口から概ね3kmは火砕流警戒必要」**  
7時～13時30分 家畜移動  
14時10分 河野宮崎県知事来町

## 国土交通省からのリエゾンの配置



### テレビ会議システムの運用

## 災害対策本部等への支援

- ・リエゾン(現地情報連絡員)の配置
- ・テレビ会議システム開始(平成23年2月9日～)
- ・高原町における大規模な災害時の応援に関する協定  
(平成23年7月25日 九州地方整備局・高原町)
- ・宮崎県・市町村社会福祉協議会災害時応援協定  
(平成23年12月8日 宮崎県社協・26市町村社協)
- ・災害時における医療救護に関する協定  
(平成23年12月28日 小林市・えびの市・高原町・西諸医師会)



## 【島原市より職員来町】

平成23年1月31日

普賢岳噴火を経験された職員 2名が来町。  
火山灰処理のためのビニール袋3万1千枚が  
寄贈される。

避難所運営や降灰処理対策、マスコミ対策  
等を教授していただく。

## 【ほほえみ館避難所風景】

平成23年2月1日

高原町総合保健福祉センター  
ほほえみ館神武ホールのホワイ  
エに柔道畳を敷く。



## 【ほほえみ館避難所】

平成23年2月2日

健康相談 386件

西諸医師会、看護協会、小林市、えびの市からスタッフ延べ88名  
マスコミ関係者がインフルエンザに罹患し、出入り禁止措置をとる。



2月7日  
仮設風呂の設置(駐車場)  
(新潟県の企業提供)

仮設風呂内部の様子  
シャワー・湯船などが完備  
一度に10名が利用可能



一部解除の説明を聴く避難者

2月5日 17時20分  
ほほえみ館  
避難勧告一部解除についての説明。  
*ただし、27世帯73名は避難継続*



【ほほえみ館(避難所)】  
2月5日 17時37分  
荷物を持って久しぶりの我が家へ





### 【ほほえみ館敷地内に ボランティアセンター開設】

平成23年2月7日  
全国から数多くのボランティアが  
来町される。

2/7~2/28 274件1263人

【高原町役場屋上より】  
平成23年2月8日  
灰色で一色の町  
(役場下、国道223号交差点)



【皇子地区】  
平成23年2月9日  
家の屋根に積もった灰の除去作業の様子



【高原町役場前】  
平成23年2月8日  
清掃車が何度も往来しました。  
幹線道路は大型のロードスイーパー、  
狭小な道路と歩道は小型ロードスイーパーで除灰作業実施。  
(国土交通省提供)

【狭野地区】  
平成23年2月8日  
回収する灰は非常に多いものでした。  
ボランティアによる収集も行われた。



平成23年2月10日  
 旧高原中学校体育館  
 連日、全国から支援物資が届けられました。  
 感謝、感謝の連続。本当に有難うございます。



**18日ぶり自分の机** 新燃岳  
 鹿兒島、宮崎県境の霧島、新燃岳(1741m)の噴火に伴い、校舎が壊れ、授業を受けられなくなった宮崎県高野町立狭野小(児童数56人)で14日、18日ぶりに授業が行われた。同町が5日、避難勧告の対象地域を大幡に縮小したことを受け、再開に踏み切った。同小は火口から約9km東にあり、降灰の影響などで1月26日に臨時休校。2月1日に、同町立高原小の教



**2月14日**  
**狭野小学校の授業が再開されました。**  
**ヘルメットを町内小・中学校5校の全児童・生徒に配布**

子供たち一宮崎県高野町で14日午前8時44分、加古川志



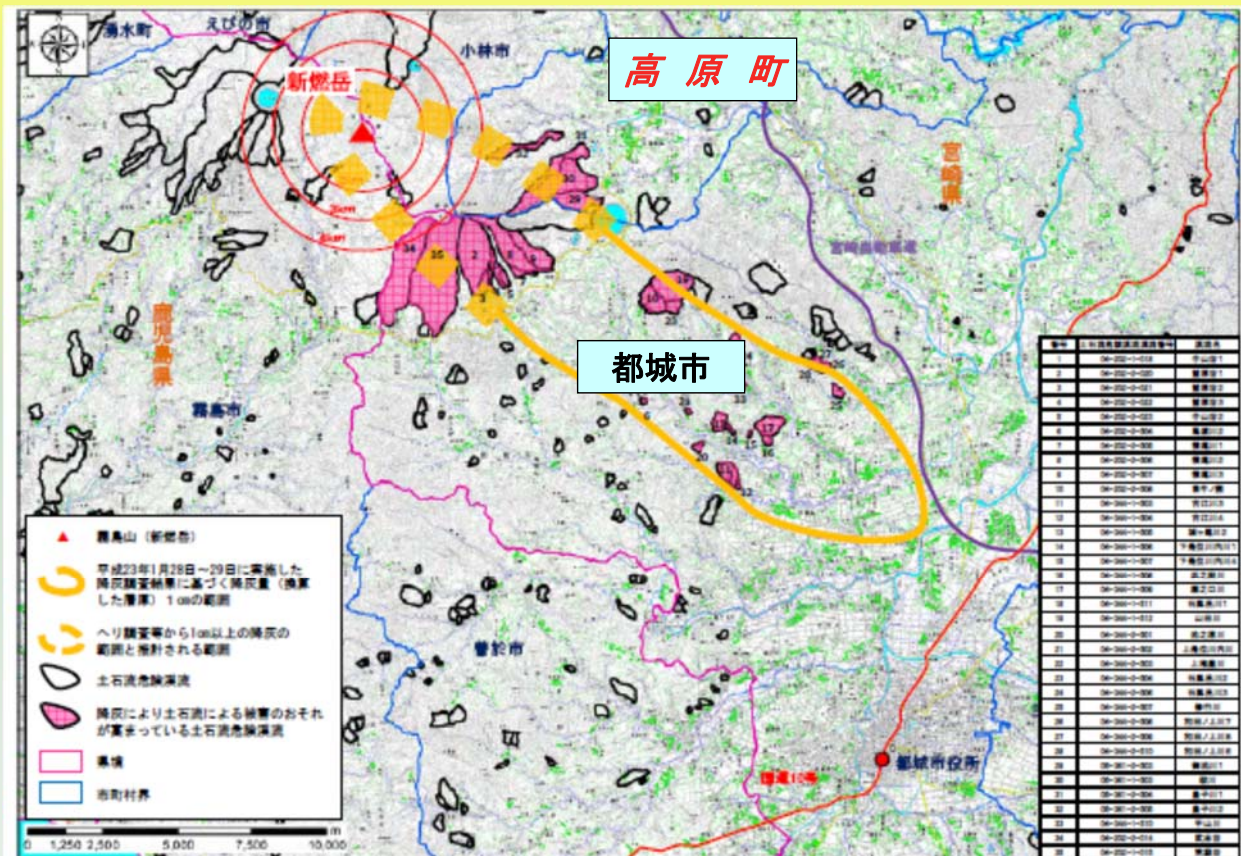
平成23年2月15日 19時30分  
避難勧告の全面解除となりました。

平成23年2月17日

災害対策本部会議風景  
開催の連続でした。



## 土石流危険渓流 35箇所



# 霧島山の大パノラマと砂防堰堤



国土交通省大淀川砂防出張所提供

## 土石流避難基準（新燃岳火山災害）

次のとおり雨量基準を変更設定する。

平成23年7月1日

高原町

### 避難準備情報発表基準

・先行雨量が、150mmに達し、

1時間35mm以上の雨量が2時間以上継続すると予想されるとき

※ 決定は、気象台、気象協会、ウエザーニュース等の予想データ及び河川の水位、濁り、現地の雨の降り方の状況等を総合的に判断して行うこととする。

### 避難勧告発令基準

・先行雨量が、150mmに達し、

1時間雨量が35mmに達した後、その後も1時間35mm以上の雨量が予想されるとき

※ 決定は、気象台、気象協会、ウエザーニュース等の予想データ及び河川の水位、濁り、現地の雨の降り方の状況等を総合的に判断して行うこととする。

※ 1時間雨量：1時間の連続した雨量とする。

※ 雨量観測データは、国土交通省観測データにより確認する。

※ 変更後の基準は、平成23年7月1日から適用する。



平成23年11月15日より、土石流避難基準を噴火前に戻した。



## 戸別受令機の設置



役場敷地内に**気象庁**で**臨時の雨量計**が設置されました。



## 災害エフエムラジオ配付



**新燃岳のライブ映像**ほか多くの情報を見ることが出来ます。



平成23年2月24日

「**防災に学ぶ講演会inたかはる**」を開催しました。

会場の神武ホールは、超満員となりました。

藤井敏嗣火山噴火予知連会長 池谷浩内閣府火山防災エキスパート  
越智繁雄内閣府防災担当参事官 伊藤高国土交通省宮崎河川国道事務所長  
横手嘉二宮崎気象台長

# 児童・生徒への防災教育・防災対策



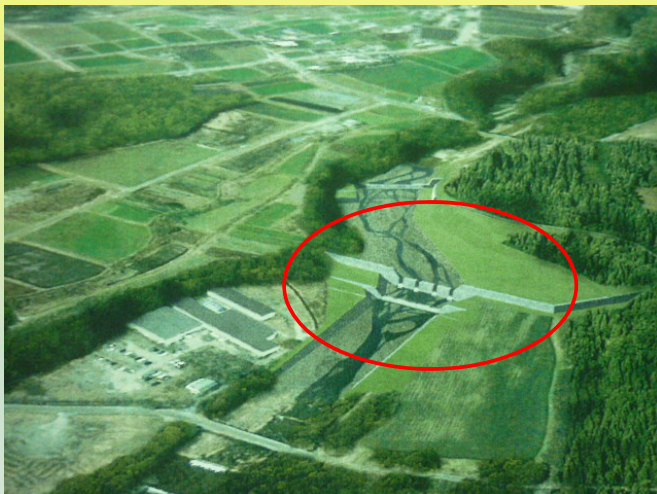
## 防災研修(気象台による20区長への講話)



# 避難施設緊急整備計画 (平成23年10月)



# 国土交通省による支援 (危険溪流での土石流対応)



蒲牟田堰堤砂防



祓川砂防堰堤

## 屋外拡声器・避難壕の整備



下川原橋



皇子原公園



高原清流ランド

### 霧島山(新燃岳)の噴火活動が活発化した場合の避難計画

- 1 避難計画の対策内容と実施責任者
- 2 防災体制の確立
- 3 避難を想定した準備に関する事項
  - (1) 避難指示等の発令の基準
  - (2) 避難に関する情報の伝達について
  - (3) 避難対象者ごとの避難場所等の把握
  - (4) 避難手段と避難所の開設について
- 4 避難時の対応に関する事項
  - (1) 事前避難
  - (2) 避難指示等による避難
  - (3) 避難対象者
  - (4) 避難手段について
  - (5) 避難経路と係る時間について
  - (6) 避難ができなくなった人たちの安全対策について
  - (7) 道路交通規制について
  - (8) 避難に際し住民のとるべき行動
  - (9) 教育機関の避難対策
- 5 避難後の対応に関する事項
  - (1) 避難状況の把握及び報告
  - (2) 避難所の管理・運営
  - (3) 救援物資、救援体制等
- 6 その他

噴火に対する認識を風化させないために

新燃岳噴火 平23. 1. 27



〒889-4412  
宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地  
Tel 0984-42-2111 Fax 0984-42-4623  
E-mail soumu@town.takaharu.lg.jp

宮崎県高原町役場

総務課長  
選挙管理委員会書記長

横山 安博  
(Yokoyama Yasuhiro)

[ 名 刺 ]